

働き方改革に関する企業経営陣へのトップ要請

社会福祉法人福泉会（福井県福井市）理事長 竹澤信幸氏を訪問し、同社の「働き方改革」の取組状況をお聴きするとともに、更なる取組の推進を要請しました。



竹澤信幸理事長（右）に『働き方改革』に関する要請書」をお渡しする田原労働局長（左）

【会社情報】

名称 社会福祉法人福泉会
本社所在地 福井県福井市寺前町 2-2-2
設立 1984年10月4日
従業員数 215人（2024年1月現在）
事業内容 高齢者介護福祉事業
URL <https://www.fukusenkai.jp>

働き方改革に向けた主な取組

項目	取組内容
働き方改革に向けた取組方針	人材不足に対応するため、多様な働き方を用意し、労働者のニーズに合う選択肢を広げることを目標としている。現在、短時間正職員制度（1日8h×4日/週）を導入している。本年4月から、週休3日制（1日10h×4日/週）を導入予定であり、今後、様々な対応策を検討したい。
若者雇用への取組	2023年9月1日に「ユースエール」の認定を受けた。若者採用に日頃から力を入れてきたこと、正職員の残業時間が月2.8時間と少ないこと、年次有給休暇の取得率が高いことが申請条件に当てはまった。女性の採用や活躍を期待して登録した「福井県女性活躍推進企業プラス」も若者の採用につながった。インスタグラムやブログ等のSNSによる情報発信を定期的に行っていることも若者の採用につながっていると思われる。日常の飾らない様子の発信が、施設の状況がよく分かるとして県外からの転職にもつながっている。
男性育児休業制度への取組	対象者には個別に制度説明を行っている。2年前に1人が取得し、約1か月間休業した。本年は1人が取得予定である。希望する職員に対しては、急な出産に対応するため、配偶者の出産予定日の約1か月前からは夜勤を免除している。
人材育成への取組	中堅職員を対象に年1回行ってきた研修制度を、2023年初めから一新した。新人から勤務年数やキャリアに応じた研修制度（介護技術向上、アンガーマネジメント、ファシリテーション、ロジカルシンキング等）を用意し、職員1人が毎年1回は受講できるように実施している。 勤続20年以上のベテラン職員に対しては、初心に戻ってのブラッシュアップ研修を実施している。アンガーマネジメント研修では、施設利用者への対応方法が分かったとの意見があるなど効果が出ている。 採用時から自社独自のメンター制度を採用している。原則3人の社内メンターを用意し、自己の希望による選択・変更が自由である。3人以外のメンターを希望することも可能で、外国人の職員は英語の話せるメンターも選べ、定期的な面談で悩みなどの問題に対応している。採用時は10日、1か月、3か月と段階的に行っており、離職率の低下や定着率アップにつながっている。
今後の取り組み課題	現在、育児短時間制度は子の小学校入学まで取得可能である。今後子育て中の職員がより働きやすいように小学校低学年まで伸ばし、職員の更なる定着を図りたいと考えている。 初任給後の昇給率は、他の業種と比べ低くなっている。介護保険料の制限のある中、昇給率をいかに上げるかが課題である。